

京都市長  
門川 大作



「京都市国際化推進プラン」を策定してから早5年余り。この間、様々な経験がありました。世界の姉妹都市との友好を更に育んだ周年事業、新たな絆を結ぶパートナーシティ提携、世界歴史都市会議をはじめとする数々の交流。そして何よりも東日本大震災発生の折、世界中の国や地域から我が国に寄せられた温かな励ましと支援…。それらの一つ一つを通じて、各国の人々と相互理解を深め、つながり合うことの大切さを強く実感してまいりました。

一方で課題も生まれています。PM2.5をはじめ、国境を越えた環境問題が深刻化しています。多くの人々が顔をそむけるようなヘイトスピーチも、急速にクローズアップされるようになりました。京都から世界へ羽ばたく若者たち、あるいは世界から京都を目指す留学生たちへの支援も更に進めていかなければなりません。

こうした社会状況の流れを踏まえて、この度、計画期間の折り返しを迎えたプランの中間見直しを行いました。

このプラン改訂版では、「世界がときめくまち」「世界がつながるまち」「多文化が息づくまち」の3つの国際化の目標を継承しながら、市民・関係団体の皆様との連携をより一層を密にし、京都ならではの魅力の向上と発信、国際交流・国際協力、多文化共生が一体となった取組を更に進めることとしています。

あらゆる分野で加速するグローバル化をしっかりと見据えて行動する。同時に、歴史や文化、ものづくりなど、京都の独自性を最大限に生かして世界の人々の心を惹き付ける。その取組を、今後も多くの皆様と共に全力で進めてまいります。引き続き御支援、御協力をお願いいたします。

最後になりましたが、プラン改訂版の策定に御尽力いただきました「京都市国際化推進プラン中間見直し検討委員会」の皆様、貴重な御意見や御提言をお寄せくださいました市民の皆様、関係機関・団体の皆様に、心から御礼を申し上げます。

## 目次

第1章 策定の趣旨	1
1 これまでの取組	1
2 国際化を巡る情勢	3
3 プランの中間見直しと位置づけ	6
<b>プラン改訂版の概要</b>	8
第2章 国際化の基本的な考え方と目標	10
1 国際化の基本的な考え方	10
2 国際化の目標	11
第3章 計画前半期の成果と今後の方向性	15
1 主な取組と課題	15
2 社会状況の変化	17
3 見直しの視点・方向性	19
第4章 推進する施策	20
1 世界がときめくまち・京都	20
～世界の人々をひきよせる「おもてなし」のまち・京都の 魅力の向上と発信～	
2 世界とつながるまち・京都	32
～市民主体の国際交流・国際協力の推進～	
3 多文化が息づくまち・京都	44
～外国籍市民をはじめとするすべての人々が 暮らしやすく、活躍できるまちづくりの推進～	
第5章 プランの推進体制	59
<b>推進項目及び主な実施事業</b>	61
資料編	76